

平安時代初期の藏人頭・藏人 一覽

佐藤全敏

【表1】 9世紀前半の藏人頭

氏名	補	去	帶官	去後	藏人	備考	天皇
1 巨勢野足	弘仁元・3	弘仁元・9	左近衛中将 中務大輔 右少弁 春宮亮 侍從	○		嵯峨在藩時の春宮大夫。武才に秀で、武官を歴任。	
2 藤原冬嗣	弘仁元・3	弘仁2・正	左衛士督 大舍人頭 春宮大夫 式部大輔	○		嵯峨天皇在藩時の春宮亮・大進。嵯峨即位後は二階級特進が二度。	

小稿は、平安時代初期に成立した藏人所についての拙論⁽¹⁾をなすにあたり、その論拠の一つとしてつくられた表である。もとより先行する玉井力氏のお仕事、なかでもその重厚な表に全面的に依拠しており、これに若干の修正と、整理のための知見を加えたものにはすぎない。ただ、この表から、玉井氏とは異なる見解が導かれ得ることを示すため、この場をお借りして揭示することにした。なお、表の再作成にあたっては、笹山晴生氏の研究⁽³⁾も参照した。

註

- (1) 拙稿「藏人所の成立」(佐藤信編『律令制と古代国家』吉川弘文館、二〇一八年)。
- (2) 玉井氏「成立期藏人所の性格について」(『平安時代の貴族と天皇』岩波書店、二〇〇〇年、初出は一九七三年) 附載の「別表(-)」。ただし藏人頭・藏人補任者の選定、および特に「帶官」欄については、なお検討の余地を残すようにも思われるが、行論の都合上ひとまず玉井氏に従った。全面的な再検討は後日を期したい。
- (3) 笹山氏「左右近衛府上級官人の構成とその推移」(『日本古代衛府制度の研究』東京大学出版会、一九八五年、初出は一九八四年)。

7										6			5			4						3						
橋 常主										直世王			藤原貞嗣			良岑安世						藤原三守						
弘仁10・3										弘仁7・11			弘仁7・11			弘仁2・2						弘仁2・2						
弘仁13・3										弘仁12・正			弘仁10・3			弘仁7・10						弘仁7・10						
修理大夫	式部大輔	中務大輔	式部少輔	左近衛少將	右近衛少將	左中弁	権左少弁	左京大夫	右京大夫	中務大輔	皇后宮大夫	右大弁	左京大夫	左少弁	左衛門督	左兵衛督	左馬頭	右馬頭	左衛門佐	左近衛少將	式部大輔	春宮亮	左兵衛督	右近衛少將	中務大輔			
○										○			○			○						○						
嵯峨藏人																												
皇后橘嘉智子の従兄弟。大学少允などを経て早い昇進を遂げる。文官を歴任。										天武系三世王従四位上長田王の孫。			嵯峨天皇即位とともに二階級特進。その後も早い昇進。			嵯峨天皇と異母兄弟（桓武皇子）。嵯峨四十賀に舞をまうなど嵯峨の信任があつかった。武才に秀で、文武官の両方を歴任。「大将の地位は、その武才にもよるが、嵯峨天皇の皇親としての関係による面がより大きい」（笹山）						嵯峨天皇在藩時の主蔵正。皇后橘嘉智子の妹を妻とし、女は仁明女御。近臣として嵯峨讓位後も院に陪候。						
嵯峨天皇																												

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8										
藤原常嗣	文室秋津	藤原浄本	藤原吉野	三原春上	藤原愛発	藤原綱継	橘長谷麿	清原夏野	朝野鹿取	朝野鹿取	佐伯永継	藤原道雄	橘氏公	坂田永河										
天長7・8	天長5・6	天長5・正	天長3・2	天長2・7	天長元・6	天長元・6	弘仁14・6	弘仁14・4	弘仁14・4	弘仁14・正	弘仁14・正	弘仁13・3	弘仁13・3	弘仁12・正										
天長8・7	天長7・正	天長6・11	天長5・5	天長5・正	天長3・2	天長2・7	天長元・2	弘仁14・11	弘仁14・6	弘仁14・4	弘仁14・4	弘仁14・正	弘仁14・正	弘仁13・3										
勘解由長官	勘解由次官	刑部少輔	左近衛中将	大舍人頭	右兵衛督	皇太后宮大夫	左少弁	彈正大弼	彈正少弼	兵部大輔	中務大輔	右中弁	神祇伯	左兵衛督	左中弁	彈正大弼	左近衛中将	中務大輔	中務大輔	右大弁	右衛門督	右衛門督	治部大輔	左中弁
○	○	×	○	○	○	○	○	卒	○	×	頭再任	×	○	×	院陪候									
嵯峨藏人	嵯峨藏人			嵯峨藏人	嵯峨藏人			嵯峨藏人	嵯峨藏人	嵯峨藏人	嵯峨藏人													
「少遊大学、涉獵史漢、諳誦文選。又好屬文、兼能隸書」とされる(薨伝)。仁明天皇在藩時の春宮亮。	武才に秀で、武官を歴任。初代検非違使別当。	淳和天皇即位後、早い昇進を遂げる。	淳和天皇在藩時、主藏正・春宮少進。大学出身。淳和讓位後、淳和院に陪候。		淳和天皇在藩時の春宮少進。文章生出身。しばしば応詔の詩を献ず。	平城天皇在藩時の春宮大進・少進。淳和朝に優遇。		皇太后橘嘉智子の従兄弟。大学出身。早い昇進を遂げる。		淳和天皇在藩時の春宮亮・大進。淳和即位後、昇進早く、左近衛中将まで武官経歴なし。文人。		嵯峨天皇の侍講。文章生出身。	弘仁13年、勅使として正倉院に赴く。	大学少允・頭を経る。大学出身か。	皇后橘嘉智子の弟。嵯峨・仁明朝で重用。仁明即位後に参議。「以太后弟、歴此頭要」(薨伝)。	嵯峨天皇の侍講。嵯峨讓位後は冷然院別当。文人。								
淳和天皇																								

34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23
小野 篁	橘 氏 人	藤原良相	橘 岑 繼	藤原長良	藤原 衛	清原滝雄	安倍安仁	藤原良房	橘 弟 氏	藤原 助	藤原家雄
承和12・7	承和11・12	承和11・正	承和9・正	承和7・3	承和5・6	承和元・7	天長10・3	天長10・3	天長9・4	天長8・7	天長8・7
承和14・正	承和12・7	承和15・正	承和11・正	承和11・正	承和9・正	承和7・2	承和5・正	承和元・7	天長10・2	天長10・2	天長9・3
左中弁 権右中弁 式部少輔 東宮学士	神祇伯 内藏頭	左近衛中将 左近衛少将	左近衛中将 兵部大輔	左兵衛督 左馬頭	式部大輔	雅楽頭	刑部大輔 兵部大輔 兵部少輔	左近衛權中將 左近衛權少将	左京大夫 右近衛少将 春宮亮		左兵衛督
○	卒	○	○	○	大宰大貳	×	○	○	×	○	卒
淳和藏人	嵯峨藏人	仁明藏人	淳和藏人	淳和藏人			淳和藏人	淳和藏人		淳和藏人	
文章生出身。「当時文章、天下無双。草隸之工、古二王之倫」とされる(薨伝)。歌人としても著名。	太皇太后橘嘉智子の兄弟。	冬嗣(↓2)の子、良房(↓26)の弟。大学出身。良房の縁故で優遇。	氏公(↓9)の子。仁明天皇在藩時に陪候し、「稍蒙寵幸」(薨伝)。母は仁明の乳母。	冬嗣(↓2)の子。仁明天皇在藩時、「晨昏侍坐」(薨伝)。	文章生、大学助、弁官など歴任。遠江守在任時の善政により昇叙。「帝甚器之」(卒伝)。	夏野(↓14)の子として嵯峨上皇より信任。	若くして校書殿に直す。嵯峨上皇、「甚親任」し、嵯峨院別当。「每有奏議、応対無滞」(薨伝)。	冬嗣(↓2)の子。母は嵯峨天皇の尚侍、妻は嵯峨の皇女、妹は仁明天皇の女御。仁明在藩時の春宮亮。	皇太后橘嘉智子の兄弟。	良房(↓26)の伯父。「少遊大学、頗涉史伝」とされる(卒伝)。	筆頭公卿であった緒嗣の子。早い昇進を遂げるも早世。「頗学典籍、兼善步射」(卒伝)。
仁明天皇											

22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
小野 篁	藤原 助	藤原貞 守	安倍安 仁	藤原良 房	藤原長 良	藤原常 嗣	紀 末守	紀 深江	滋野貞 主	三原春 上	橘 常主	百済王 勝義	坂田弘 貞	文室秋 津
天長7・正	天長4・正	天長4・正	天長3・正	天長2・正	弘仁14・11	弘仁12・正	弘仁10・某	弘仁8・正	弘仁8・正	弘仁8・正	弘仁7・正	弘仁6・正	弘仁6・正	弘仁5・12
天長9・正	天長6・正	天長5・正	天長5・正	天長5・正	天長元・正	弘仁14・正	弘仁14・4	弘仁13・正	弘仁11・正	弘仁11・正	弘仁8・正	弘仁7・2	弘仁7・正	弘仁7・正
式部少丞	大内記	春宮少進		中判事		式部大丞	右京少進	式部少丞	大内記	式部大丞	式部少丞	左衛門大尉	式部大丞	右近衛將監
「当時文章、天下無双。草隸之工、古二王之倫」とされる(薨伝)。文章生出身。歌人としても著名。	良房(↓18)の伯父。「少遊大学、頗涉史」伝とされる(卒伝)。	「器宇凝峻、頗有学涉」とされる(卒伝)。大学大允を経る。	冬嗣(↓表1-2)の子。母は嵯峨天皇の尚侍、妻は嵯峨の皇女、妹は仁明天皇の女御。若くして校書殿に直す。嵯峨上皇、「甚親任」し、嵯峨院別当。「每有奏議、応対無滞」(薨伝)。	冬嗣(↓表1-2)の子。仁明天皇在藩時、「晨昏侍坐」(薨伝)。	冬嗣(↓表1-2)の子。母は嵯峨天皇の尚侍、妻は嵯峨の皇女、妹は仁明天皇の女御。若くして校書殿に直す。嵯峨上皇、「甚親任」し、嵯峨院別当。「每有奏議、応対無滞」(薨伝)。	冬嗣(↓表1-2)の子。母は嵯峨天皇の尚侍、妻は嵯峨の皇女、妹は仁明天皇の女御。若くして校書殿に直す。嵯峨上皇、「甚親任」し、嵯峨院別当。「每有奏議、応対無滞」(薨伝)。	文華秀麗集に作品あり。	文章生出身。	文章生出身。略涉史書」とされる(卒伝)。	文章生出身。文人・学者。	皇后橘嘉智子の従兄弟。大学少允などを経て早い昇進を遂げる。文官を歴任。	「少遊大学、頗習文章」とされる(薨伝)。大学少允を経る。	「少遊学館、涉獵百家」とされる(公卿補任尻付)。文章生出身。文人・学者。	武才に秀で、武官を歴任。初代検非違使別当。
○(文章生)	○	○		○	○	○		○(文章生)	○(文章生)			○	○(文章生)	
			○								○			○
淳和天皇														

36	高橋文室麻呂	嵯峨没後	(未詳)		琴の名手として藏人に補任。			○	
35	在原業平	承和14・正	嘉祥2・正		歌人。			○	
34	藤原冬緒	承和13・正	承和14・正	春宮少進					
33	源舒	承和12・正	承和14・2	式部大丞	嵯峨天皇の孫。				
32	藤原諸葛	承和12・正	嘉祥3・3		三守(↓表1-3)の孫。母は橘氏出身。		○		
31	良岑宗貞	承和11・正	承和12・正		歌人。 安世(↓表1-4)の子。仁明天皇在藩時、「陪蕃邸、而委質」(三代実録仁和元・2・13)。仁明崩御にともない出家。法名、遍照。		○		
30	藤原良仁	承和10・某	承和13・正	主藏正 春宮大進	冬嗣(↓表1-2)の子。「少遊大学、讀書忘疲」とされる(卒伝)。		○		
29	伴善男	承和9・正	承和10・正	式部大丞	若くして校書殿に直す。仁明天皇に「侍奉」し、「稍被知寵、任寄日重」(三代実録貞観8・9・22)。叙爵から参議までわずか5年。			○	仁明天皇
28	南淵年名	承和7・正	承和8・正	式部少丞	「性聡察、有局量。莅官理事、以清幹聞」とされる(薨伝)。			○	
27	在原行平	承和7・正	承和7・12		歌人。			○	
26	藤原良相	承和元・正	承和5・正	内藏助 左兵衛権大尉	冬嗣(↓表1-2)の子、良房(↓18)の弟。大学出身。良房の縁故で優遇。			○	
25	藤原氏宗	天長10・12	承和5・正	式部大丞	三守(↓表1-3)の子。武官を歴任。				
24	藤原仲統	天長10・3	承和3・正						
23	橘岑継	天長7・正	天長9・正		氏公(↓6)の子。仁明天皇在藩時に陪候し、「稍蒙寵幸」(薨伝)。母は仁明の乳母。			○	

* 「帯官」欄は、藏人在任中に帯びていた官を示す(外官は省略)。武官は特にゴチック体で示した。
* 「文筆・学問」欄の「(文章生)」は、文章生出身であることが明らかであることを示す。

